

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

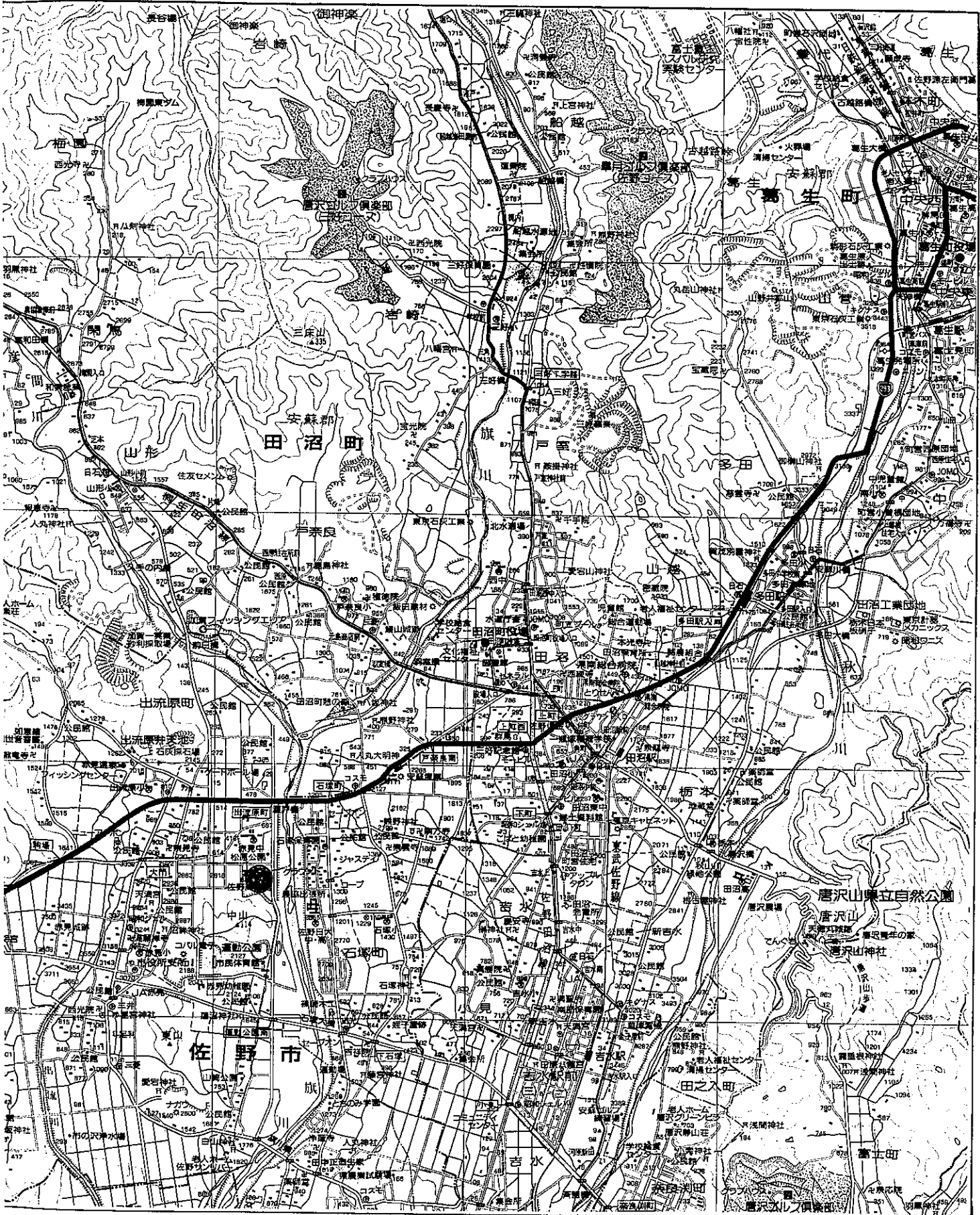
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

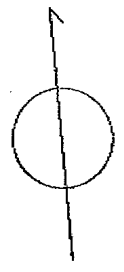
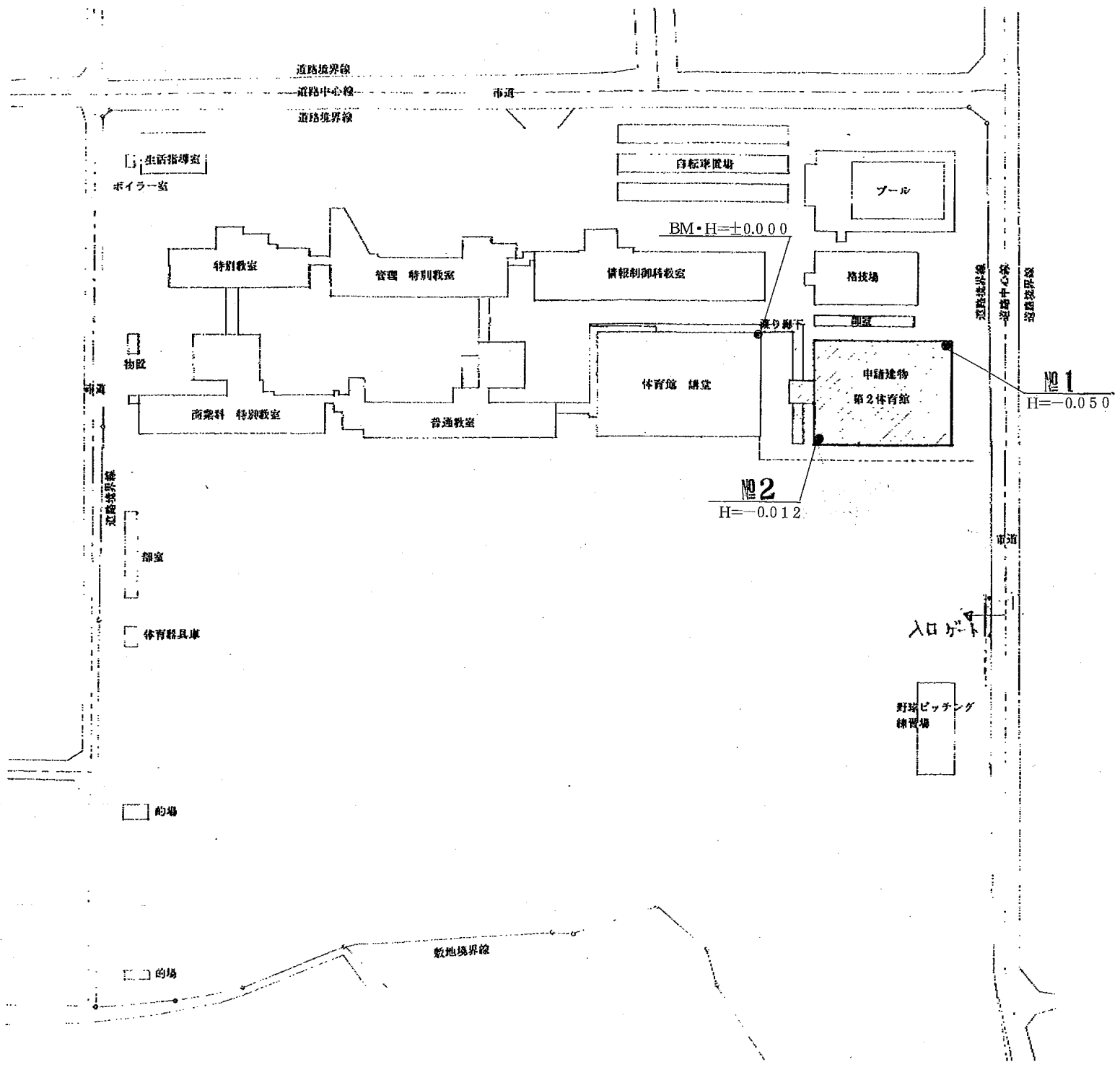
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

# 案内図

●.....調査地





# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

栃木県立佐野松陽高校第二体育館  
 調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査 標 高 -0.050 m 調査年月日 7年12月26日～ 年12月29日  
 ボーリング孔: 底 1 孔内水位 GL-4.20 m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録				標準貫入試験				試料採取									
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数			N 値	試料番号	採取方法						
										10	20	30	0	10	20	30	40	50	60		
1	0.450	0.40	0.40	埋	土茶褐	褐	φ10~100%程度の レキ混入。ローム系 の粘性土主体。 腐植物・有機物混入。 やや粘性強い。	1.15	46	15	19	12									
	1.050	1.00	0.60		ロ	暗		1.45	30												
2								2.15	29												
								2.45	30	10	11	8									
3							最大径φ150%前後。 φ5~60%程度の 角レキ主体。	3.15	33												
		3.80				暗黄灰		3.45	30	13	10	10									
4							上層含水性をし。 -4.00m付近に 含水多い。	4.15	27												
							マトリクスは、砂系 及び少量の粘性土。 全体に崩壊性強く 自立性不良。	4.45	30	10	9	8									
5								5.15	34												
								5.45	30	11	10	13									
6								6.15	36												
								6.45	30	13	11	12									
7								7.15	29												
								7.45	30	8	10	11									
8								8.15	27												
	8.750	8.70	7.70		砂	礫黄褐灰		8.45	30	9	9	9									
9							有機物・浮石混入。 若干凝灰質状呈す。	9.15	3	2	1										
	9.850	9.80	1.10		粘	土黄茶褐		9.50	38	14	24										
10							最大径φ100%前後。 φ2~50%程度の 角・重角レキ主体。 浮石散在。	10.15	50												
							レキは部分的に 粘土化。	10.45	29	15	18	17									
11								11.15	38												
								11.45	30	15	11	12									
12							粘土混り 砂	12.15	37												
								12.45	30	13	12	12									
13	13.200	13.15	3.35		砂	礫暗褐	自立性良好。	13.15	10												
								13.45	30	4	3	3									
14							φ3~30%程度の レキ点状。 浮石・鉄分混入。 所々レキ分多く 砂レキ状。	14.15	8												
								14.45	30	2	3	3									
15							全体に凝灰質状 呈す。	15.15	50												
								15.45	19	16	34	9									
16	16.150	16.10	2.95		粘	土茶褐		16.15	20												
								16.45	30	3	7	10									
17	16.850	16.80	0.70		粘	土混り砂礫	φ2~80%程度の 角・重角レキ主体。 レキは部分的に 風化状。	17.15	8												
								17.45	30	2	3	3									
18							浮石・有機物混入。 上層若干シト性帯 呈す。	18.15	7												
								18.45	30	2	2	3									
19							部分的に軟凝固状 と呈す。	19.15	11												
								19.45	30	3	4	4									
20	19.850	19.80	3.00		粘	土茶褐		20.15	10												
								20.45	30	3	3	4									
21		20.70					浮石・有機物混入。 上層やや凝固状を 呈す。 下部小レキ点在。	21.15	19												
								21.45	30	5	7	7									
22								22.15	4	1	2	1									
								22.45	32	11	15	6									
23	22.950	22.90	3.10		粘	土暗緑灰		23.15	6												
								23.45	31	2	11	2									
24							浮石・有機物混入。 φ5~15%程度の 小レキ点在。 所々層に砂分 挟存。色調の変化 あり(茶褐)。	24.15	2	1	1										
								24.45	34	15	19										
25	25.540	25.49	2.69		粘	土黄茶灰		25.15	5	2	2	1									
								25.49	34	15	12	7									

備 考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

◎ デニソン型サンプラー

- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

# 土質柱状図

報告用紙

栃木県立佐野松陽高校第二体育館  
 調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査 標高 - 0.012 m 調査年月日 7年12月27日~ 年12月9日  
 ボーリング孔: A-2 孔内水位 GL - 7.50 m 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録				標準貫入試験				試料採取			
				土質記号	土質名	色調	記号	深さ m	打撃回数 買入量 cm	10cmごとの打撃回数			N 値		試料番号
1							上層-0.40m 砂混り粘土。 次深レキ混りローム 主体。 下部埋設物あり。	1.15 1.49	3 34	1 12	1 12	1			
2	2.12	2.10	2.10		埋土	茶褐		2.15 2.46	10 31	2 3	3 11	5			
3							最大径φ250%前後 φ2~100%程度の 角レキ主体。マトリクス は砂系、崩壊性強。	3.15 3.45	22 30	8 8	8 6	6			
4	3.912	3.90	1.80		砂礫	暗黄灰		4.15 4.47	3 32	1 1	1 12	12			
5	4.512	4.50	0.60		砂質ローム	黄茶褐	浮石多混入。 砂分、ロームの混合土。	5.15 5.45	31 30	9 10	10 12	12			
6							最大径φ200%前後 φ2~100%程度の 角・亜角レキ主体。 浮石混入。	6.15 6.45	47 30	16 15	15 16	16			
7							浮石混入。 マトリクスは粗・細 粒砂及び粘性土。	7.15 7.45	42 30	14 15	15 13	13			
8	8.012	8.00	3.50		砂礫	黄褐灰		8.15 8.49	3 34	1 2	2 24	24			
9							有機物、浮石混入。 凝灰質状を呈し 含水多い。	9.15 9.50	3 35	1 12	2 23	23			
10	9.762	9.75	1.75		粘土	黄茶褐		10.15 10.40	50 25	20 20	20 5	5			
11							最大径φ200%前後 φ2~70%程度の 角・亜角レキ主体。 浮石散在。	11.15 11.36	50 21	21 25	25 1	1			
12							レキは部分的に 風化状。 マトリクスは 粘土質砂。	12.15 12.45	42 30	9 13	13 20	20			
13	13.812	13.80	4.05		粘土混り 砂礫	暗褐		13.15 13.42	50 27	17 20	20 7	7			
14							腐植物少量混入。 若干ローム性帯あり。	14.15 14.45	7 30	2 2	2 3	3			
15	14.712	14.70	0.90		粘土	茶褐	部分的にスコリア多い レキ点在。	15.15 15.45	18 30	4 6	6 8	8			
16							粘土薄層状は 不規則に挟有。 下部軽石混入。	16.15 16.45	25 30	3 12	18 8	8			
17	17.362	17.35	2.65		粘土質 細砂	黄灰	粒子粗い。	17.15 17.45	27 30	3 4	4 20	20			
18							最大径φ200%前後 φ2~150%程度の 角レキ主体。マトリクス は粘土質砂。	18.15 18.43	50 28	15 15	20 8	8			
19	18.812	18.80	1.45		玉石混り 砂礫	黄褐		19.15 19.45	26 30	8 9	9 9	9			
20							浮石・有機物混入。 局部的に 軟凝固状を示す。	20.15 20.45	24 30	5 8	8 11	11			
21	20.20						下部凝灰質状を 呈す。	21.15 21.45	16 30	3 5	5 8	8			
22	22.312	22.30	3.50		硬質粘土	黄灰		22.15 22.45	38 30	2 15	15 21	21			
23							最大径φ150%前後 φ2~70%程度の 角・亜角レキ主体。	23.15 23.40	50 25	14 18	18 5	5			
24							角・亜角レキ主体。 -25.25~25.45m 粘土挟有。	24.15 24.45	40 30	13 14	13 13	13			
25	25.462	25.45	3.15		粘土混り 砂礫	茶褐	マトリクスは砂系 及び粘性土。	25.15 25.45	14 30	7 4	4 3	3			

備考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他